

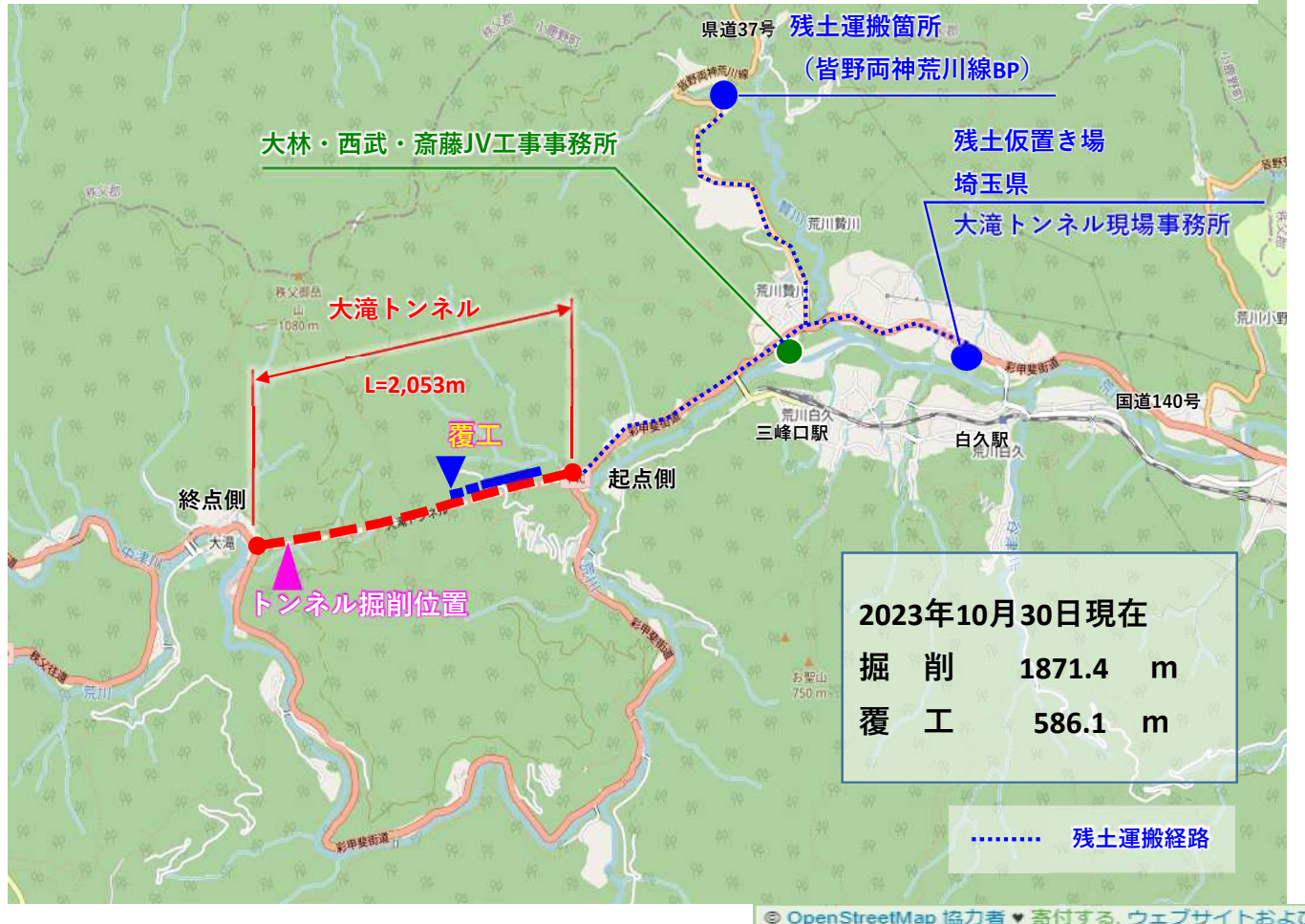


大滝トンネル 工事情報通信

暑い暑いと過ごしていたらあっという間に紅葉が始まり、最低気温も1桁まで下がるようになってきました。ドライブや紅葉狩り等、行楽には気持ちの良い季節になりますが、急な温度変化に体がついて行っていない感じです。

大滝トンネルも掘削が1870mを超え、残り200mを切りました。丁度、道の駅大滝温泉入口部の山側を掘っているところです。また、終点側（大滝落合地区）のトンネルが貫通する位置の掘削準備を10月より着手しました。これから大滝トンネルが貫通する箇所の坑口掘削を行います。覆工（仕上げのコンクリート）も並行して進めており580mを超えました。

大滝落合地区の皆様におかれましては、発破の騒音や振動でご迷惑をおかけすると思いますがご協力をお願いします。



問合せ先

大滝トンネル事業全体
に関するお問い合わせはこちら

埼玉県西関東連絡道路建設事務所
住所：秩父郡皆野町皆野2511-1
TEL：0494-62-5811
担当：小林、宮城、中村

大滝トンネル本体工事
に関するお問い合わせはこちら

大林・西武・斎藤JV工事事務所
住所：秩父市荒川糞川 703-1
TEL：0494-26-6371
担当：古家、小野寺、古本

工事の進捗状況及び、今後の予定

トンネル掘削は11月、12月と掘削を進めていきます。今までは比較的地山の良好な箇所を掘削していたため、順調に掘進できましたが、11月中旬位より地山がやや悪くなることが想定されていることから、進行は遅くなる予定です。そのため、11月は100m/月程度、12月は50m/月程度を予定しています。トンネル掘削で発生する残土は引き続き皆野両神荒川線BPへ運搬します。

覆工コンクリートは標準断面箇所のコンクリートを打設しています。11月、12月とも10回/月（125m/月）程度を打設する予定です。また、拡幅断面箇所の覆工の準備も11月中旬より始めます。防水シート、鉄筋の組立を先行して施工します。

トンネル進捗写真



トンネル掘削
1800m付近の岩盤の状況です。比較的安定しています。



終点側坑口箇所（大滝落合地区側）
トンネルが貫通する箇所の掘削準備を始めました。

トンネル測量



測量状況
トンネルの管理で一番重要な、基準点の確認をしています。定期的に測量専門会社とダブルチェックを行い無事貫通できる



秩父ミュージアムパークを散策してきました。